

下呂市馬瀬商工会だより



令和5年4月吉日（卯月）発行：下呂市馬瀬商工会
TEL：0576-47-2244
<https://www.gifushoko.or.jp/geroshimaze/> 下呂市馬瀬名丸406

いよいよ新年度、令和5年度がスタートしました。
事務局は、中島は異動なく引き続きお世話になります。
また二村恭弘さんに代わり、尾里望さん（数河在住）が来てくださいます。本年度も会員の皆様のご協力のもと「最も身近な経営相談所」となるよう努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。

個人事業主のみなさん、忘れないでください！ 所得税・消費税の口座振替

個人事業者の所得税・消費税の確定申告が終わりました。所得税・消費税において、口座振替納税の手続きをしている方は、振替日が次のようになります。

前日までに預金残高の確認をお願いします。

所得税振替納税日	令和5年4月24日（月）
消費税振替納税日	令和5年4月27日（木）



下呂市馬瀬商工会通常総会

下呂市馬瀬商工会の令和5年度の通常総会は、例年通り南飛騨馬瀬川観光協会と合同にて下記の日程で開催されます。総会終了後は懇親会も予定していますので、多くの会員の皆さま方に、ぜひご出席していただきたく、ご予約のほどよろしくお願いたします。

○開催日時：令和5年5月18日（木）
午後3時30分～（予定）

○開催場所：馬瀬中央公民館（予定）



各種施策をうまく使って、ビジネスを一步前に！ 補助金活用を考える！

中小企業・小規模事業者の事業展開を応援するさまざまな補助金や優遇策。馬瀬商工会管内の事業所においても、「小規模事業者持続化補助金」等、補助金を活用され販路拡大に結びつくなどの様々な事業を展開された事業所もたくさんあります。新年度に入り、各種補助金制度の公募がスタートしますが、今回、その一部をご紹介します。

【小規模事業者持続化補助金】

小規模事業者等が、今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更等に対応するために取り組む販路開拓等の取組の経費の一部を補助することにより、地域の雇用や産業を支える小規模事業者等の生産性向上と持続的発展を図ることを目的とするものです。

◇補助上限

【通常枠】 50万円

【賃金引上げ枠・卒業枠・後継者支援枠・創業枠】 200万円

※インボイス特例対象事業者は、上記金額に50万円の上



乗せがあります。

◇補助率 2/3（賃金引上げ枠のうち赤字事業者は3/4）

◇対象経費

機械装置等費、広報費、ウェブサイト関連費、展示会等出展費（オンラインによる展示会・商談会等を含む）、委託・外注費等

◇申請受付締切（予定：変更の可能性あり）

第12回：令和5年6月1日（木）

第13回：令和5年9月7日（木）



【岐阜県版持続化補助金】

今回は、原油高・物価高騰対策に向けた小規模事業者の取り組みを支援する補助金です。販路開拓や業務の効率化、事業転換や新分野・新事業への取り組みに対する事業が補助対象経費となります。補助率は補助対象経費の2/3以内、補助上限額は300万円です。募集開始は4月上旬、採択時期は6月中旬～7月上旬の予定と

言われています。

【IT導入補助金 2023】

中小企業・小規模事業者等の労働生産性の向上を目的として、業務効率化やDX、サイバーセキュリティ対策等のためのITツール（ソフトウェア、アプリ、サービス等）の導入を支援する補助金です。

《申請類型》

①通常枠（A類型・B類型）

②セキュリティ対策推進枠

③デジタル化基盤導入枠

（デジタル化基盤導入類型・複数社連携基盤導入類型）

昨年度同様、インボイス制度の円滑な移行を支援するため、「デジタル化基盤導入枠」が設けられ、補助率の引き上げやハード（PC、タブレットなど）が補助対象となる等の特例があります。補助金額補・助率・申請期間等については、申請類型により異なります。

尚、本補助金については、IT導入補助金事務局に登録された「IT導入支援事業者（ITベンダー・サービス事業者等）」とパートナーシップを組んで申請することが必要です。

※詳細については、

ホームページ「IT導入補助金2023」

（<https://www.it-hojo.jp>）をごらんください。



【事業再構築補助金】

新分野展開や業態転換、事業・業種転換、事業再編またはこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦を支援するものです。

①物価高騰対策・回復再生応援枠 ②成長枠

③グリーン成長枠 ④産業構造転換枠

⑤最低賃金枠 ⑥サプライチェーン強靱化枠

⑦大幅賃上げ・規模拡大へのインセンティブ

補助金額・補助率等については、類型や事業所規模等により異なります。前回（第9回）の公募申請については、去る3月24日に締め切られましたが、今後第10回については、公募申請開始は4月上旬、締め切りは6月下旬になる予定とされています。

今回上記4つの補助金を紹介しましたが、いずれにしても、事業者皆さま自身が申請しようとする補助金制度を充分理解し、真摯に経営計画を持ち、その計画に向き合った上で補助金を申請することが本当の「補助金」制度の活用と言えます。補助金申請を検討される場合は、早め早めにご相談ください。

まずは家庭から・・・ みなさんの健康を守る「減塩食」の推進